

天竜精機株式会社

2010年度 環境活動レポート

(対象期間:2010年1月～2010年12月)



作成日：2011年2月1日
改訂日：2011年9月2日

□ごあいさつ

豊かな緑の大地の恵みを受けた環境にやさしい物作りを目指して

当社は ふたつのアルプスに育まれた風光明媚な場所に立地し、社章でもある太陽と月と大地の自然環境豊かな当地で、経済発展と環境保全活動に貢献します。

天竜精機株式会社
代表取締役 芦部 喜一

環 境 方 針

<環境理念>

天竜精機株式会社は、地球環境の保全が経営の重要課題であると認識し、全員参加で事業活動と環境保全との両立に努めます。

環境方針

- (1) 納期遵守を通じて、効率的な生産を追及し、資源及びエネルギーの削減に努めます。
- (2) トップレベルの環境性能を持つ製品の開発に努めます。
- (3) 環境法規、協定を遵守し、地域に受け入れられる企業であり続けます。
- (4) 循環型社会の実現を目指し、環境目標を設定し、継続的改善を図ります。
- (5) 環境方針を定め、全社員に周知すると共に、環境への取り組みを環境活動レポートとして情報開示し、社会とのコミュニケーションに努めます。

制定日： 2010年1月16日

改定日：

代表取締役社長 芦部 喜一

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
天竜精機株式会社
代表取締役社長 芦部 喜一
- (2) 所在地
本 社 長野県駒ヶ根市市東伊那5650番地
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 品質環境室 室長 征矢紫郎 TEL:0265-82-5111
担当者 同上 TEL:0265-82-5111
- (4) 事業内容
省力専用機的设计、製造、販売 主要製品:コネクタ組立機、SMT関連機器、他
- (5) 事業の規模
製品出荷額 22億円
主要製品生産量 219tg
- | | |
|-------|--------|
| | 本社 |
| 従業員 | 105名 |
| 延べ床面積 | 5,885㎡ |
- (6) 事業年度 1月～12月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 天竜精機株式会社
関連事業所: なし

対象外: なし
活動: なし

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	1990年 (基準年度)	2008年	2009年	レポート 対象年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	277,898	292,484	271,065	311,060
二酸化炭素排出係数 *0.378					
廃棄物排出量	トン	***	14.42	16.83	22.29
一般廃棄物量排出量	トン	***	0	0	0
産業廃棄物排出量	トン	***	14.42	16.83	22.29
総排水量	m ³	***	1,157	873	1,043
化学物質使用量	kg	***	***	***	***
物質使用量	トン	***	***	***	147
総製品生産量	トン	***	***	***	219

電力+化石燃料

□環境目標及びその実績

年 度 項 目		1990年	2008年	2009年	2010年	2011年
		(基準年度)	(実績) 基準年度比	(実績) 基準年度比	(実績) 基準年度比	(目標) 基準年度比
電力の二酸化炭素 排出量削減	kg-CO2 基準年度	153,283 (1990年)	181,131 118.2%	164,083 107.0%	211,615 138.1%	142,706 93.1%
灯油の二酸化炭素 排出量削減	kg-CO2 基準年度	69,958 (1990年)	54,765 78.3%	37,481 53.6%	42,644 61.0%	65,131 93.1%
ガソリンの二酸化炭素	kg-CO2 基準年度	54,657 (1990年)	51,619 94.4%	68,454 125.2%	54,866 100.4%	50,886 93.1%
軽油の二酸化炭素 排出量削減	kg-CO2 基準年度	**,*** (1990年)	4,968 ** ***	2,046 ** ***	1,935 ** ***	**,*** 93.1%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	273,337 (1990年)	292,484	271,065	311,060	254,477
一般廃棄物の削減	kg 基準年度	(1990年)	0 * ***	0 * ***	0 * ***	0 * ***
産業廃棄物（廃油 等）の削減	kg 基準年度	*,*** (1990年)	14,423 * ***	16,825 * ***	22,290 ** ***	13,080 ** ***
節水	m ³	***	1,157	873	1,043	1,080
化学物質使用量	kg	***	***	***	***	4 (1～8月実績)
物質使用量	トン	***	***	***	147	130
総製品生産量	トン	***	***	***	219	200

□環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
電力による二酸化炭素排出量の削減		
・納期遵守	△	工程不良低減、顧客不具合低減等の施策にて、納期を守る効率的な生産活動を目指した。しかし、工程不良の増加、顧客不具合の発生で納期を守れず、二酸化炭素排出量の削減を、達成出来なかった。 納期遵守に加えて、コストハーフ・ユニットの標準化 ・作業の標準化・情報伝達を新たに取り組み、目標達成に向けて活動する。
・工程不良の20%削減	△	
・顧客不具合 0件/月	△	
・蛍光灯の時間外消灯	○	
・冷暖房機の温度管理	○	
・コンプレッサエアー漏れ撲滅	◎	
化石燃料による二酸化炭素排出量の削減		
・蛍光灯の時間外消灯	○	エコ運転の申請とチャンピオン表彰で、二酸化炭素排出量削減の意識が広がった。 今後も継続して活動していく。
・冷暖房機の温度管理	◎	
・公共交通機関の利用	△	
一般廃棄物の削減		
・分別し廃棄業者への売上	◎	分別活動を進め、有価として業者に売上が出来、目標を達成できた。今後も分別活動を継続していく。
産業廃棄物（廃プラ）の削減		
・購入品梱包の業者引取り	○	前年度の生産量と大きく変わり、業者への梱包材削減依頼が追いつかず、目標を達成出来なかった。 削減依頼を継続して実施する。
・分別化によるリサイクルの拡大	○	
・圧縮化	×	
・廃棄物分別パトロール	○	
節水		
・手洗い時の節水	◎	水道蛇口への節水コマ設置の効果が有り、目標達成できた。今後も継続して実施する。
省資源		
・印刷の必要性の見直し	△	印刷の必要性の見直し活動を実施したが、目標を達成できなかった。 但し、コピー紙の裏紙利用率は高かった。 今後も活動を継続する。
・縮小印刷の徹底	○	
・コピー紙の大量仕入れ禁止	○	
・社外発行文書の電子化	○	
製品への環境配慮		

・消費電力の測定、空気の消費量の削減	△	エコプロダクツへ向けて、M/C毎の電力量と、空気の消費量の測定を行い現状把握をおこなった。継続して測定する
社会貢献		
・地域への活動	○	社)国土緑化推進機構へ「緑の募金」を実施。

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属クズ、廃プラ、廃ガラス、廃油等)
フロン回収破壊法	業務用空調機
水質汚濁防止法	BOD、ノルマルヘキサン抽出物質含有量
工場立地法	指定工場の新設時の届出、記載内容の変更時の届出、緑地面積率の遵守
労働安全衛生法	有害物質の関する規制、名称等を表示すべき有害物、安全衛生管理体制
消防法(危険物)	防火管理者、危険物貯蔵所、取扱所設置の届出

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

納期を遵守する為に、効率的な生産を目指して活動を行ったが、新規設計による工程不良や顧客不具合が低減できず、二酸化炭素の削減目標を達成出来なかった。
 次年度は、コストハーフ・ユニットの標準化・作業の標準化・情報伝達を会社方針として取り組み、効率的な生産によって、二酸化炭素の削減に取り組む。

□環境活動の紹介

天竜精機は、中央アルプスと南アルプスに挟まれた、伊那谷の豊かな自然の中で、事業を推進する企業です。
 太陽光発電フィールドテスト事業の助成を受け、太陽光発電システムを導入し運用しています。
 この自然の恵みを活用して、太陽光発電システムは年間使用電力量の約15%を補っています。



環境方針に納期遵守を掲げ、効率的な生産を迫り、資源及びエネルギーの削減に向けて、取り組んでいます。
 そして、当社のミッションとして、「お客様と共に成長する自動機メーカーです。
 共に課題に挑戦し、世界中の人々の快適なデジタルライフの発展に貢献します。」を掲げ取り組んでいます。
 環境活動面と技術面の両面で「お客様に選ばれる会社」を目指し活動を行っています。